



甲州市母子保健計画～すこやか親子こうしゅう～

計画策定のプロセスとポイント



甲州市役所 健康増進課
保健師 武藤陽子

(H28「健やか親子21(第2次)」と母子保健計画の策定と評価、母子保健情報の利活用についての研修 資料)

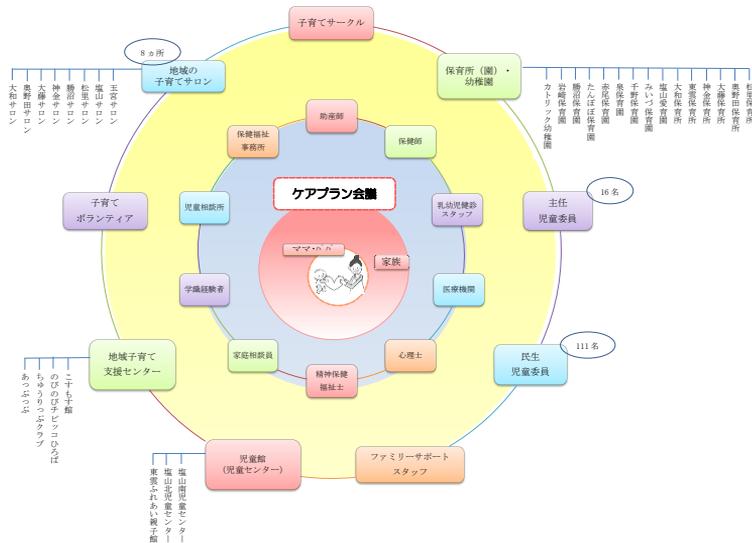
甲州市ってどんなところ？

～豊かな自然 歴史と文化に彩られた果樹園交流のまち 甲州市～

- 甲州市は平成17年11月1日に、
塩山市、勝沼町、大和村が合併し誕生
- 人口：33,031人 (H28.7.1現在)
- 出生数：192人 (H27年次)
- 合計特殊出生率：1.31 (H27)
 - ・県 1.43 (H26)
 - ・全国 1.42 (H26)
- 高齢化率：31.7% (H27.4.1)
 - ※H28.7.1現在 32.8%
 - ・県 27.4% (H27.4.1)
 - ・全国 26.4% (H27.4.1)



甲州市 ママのあんしんネットワーク図



甲州市母子保健縦断調査 (甲州プロジェクト)

- 昭和63年に、旧塩山市（現甲州市）と山梨医科大学保健学Ⅱ講座（現山梨大学大学院総合研究部医学域社会医学講座）が共同で開始し、28年間に渡って継続
- 妊娠期から健診データやアンケート結果を分析し、母子保健行政推進の基礎資料として活用している
- これまでの取り組み
 - *リーフレット作成；「妊婦の喫煙、飲酒」「睡眠」
 - *乳幼児事故予防

なぜ、今、母子保健計画？

- ①これまで母子保健計画が組み込まれていた「甲州市次世代育成支援地域行動計画」がH26年度で終了となる
- ②甲州市の母子保健事業は豊富にあり、母子に接する機会が多いが、スタッフ全員が真に目指す姿を共有できているだろうか、親子のニーズを捉え、質の高い関わりができていたのだろうかと感じた

7

なぜ、今、母子保健計画？

- ③多様化するニーズや課題に対応するためには、行政だけではなく、母子保健・子育て支援の関係者や関係機関、地域全体のつながりが大切であり、関わるすべての人が共通認識を持てるようにしたい

⇒単独計画を策定して、
重点的に母子保健に取り組もう！

8

計画策定のプロセス

はじめに、話し合っで決めたこと

- ① 総花的な計画ではなく、重点を絞って、この先10年間の取り組みや達成目標を具体的にわかりやすく明記する
- ② 合併時から毎年積み重ねてきた地域診断の内容をベースに、今ある資料を整理してみる。
- ③ その上で、実態や課題がきちんと掴めているか確認し、スーパーバイズを受けながらまとめてみる。

9

<助言して頂いたこと>

- ① まず、計画全体の構成を考える（決定する）
- ② 次に、現状がどうなっているか確認する。
統計データ、評価指標や日頃の保健師活動から感じていることをまとめる。
（KJ法で整理するのも良い）
- ③ 今後10年、どこを重点的に取り組むか決める。
さらに、取り組みの目標を決める。
- ④ 枠組みを決める。
「めざす姿」「目標」「現状（指標）」
→これでディスカッションする。
評価シートを作ってみるとよい。
（現状、5年後、10年後の3段階）

10

* 計画策定の進め方について

- ① 「すこやか親子21」の課題構成、指標設定を参考とする
- ② 改めてアンケート調査は行わず、既存のデータから課題抽出、目標設定を行う
- ③ 策定委員会は設置せず、既存の会議（ママのあんしんネットワーク会議）に内容を周知し、意見を聴取する

11

甲州市母子保健計画 ～すこやか親子こうしゅう～

第1章 計画策定にあたって

1. 計画策定の趣旨
2. 計画の位置づけ
3. 計画の期間

第2章 計画の基本的な考え方

1. 基本理念
2. 主要課題
3. 目標設定の考え方
4. 計画の体系

第3章 計画の主要課題に対する目標

- 基盤課題A
- 基盤課題B
- 重点課題①
- 重点課題②
- 重点課題③

12

甲州市母子保健計画 ～すこやか親子こうしゅう～

第4章 計画の推進体制

第5章 計画の評価

1. 目標シート
2. 評価指標一覧

第6章 母子保健に関する現状

1. 母子保健に関する統計
2. 甲州市の母子保健事業
3. 甲州市母子保健調査、
甲州市母子保健縦断調査（アンケート結果から）

13

甲州市母子保健計画 ～すこやか親子こうしゅう～

すこやか親子こうしゅう



すべての親と子が健やかで心豊かに暮らせるまち こうしゅう

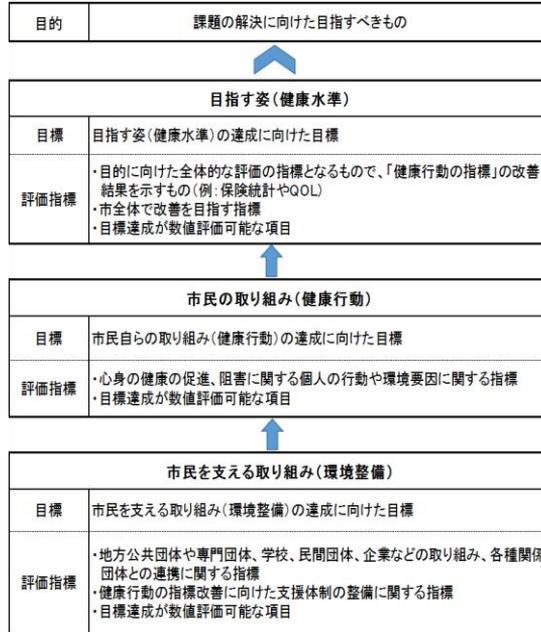
子育て支援・健康支援



14

目標設定の考え方

基盤課題・重点課題：〇〇

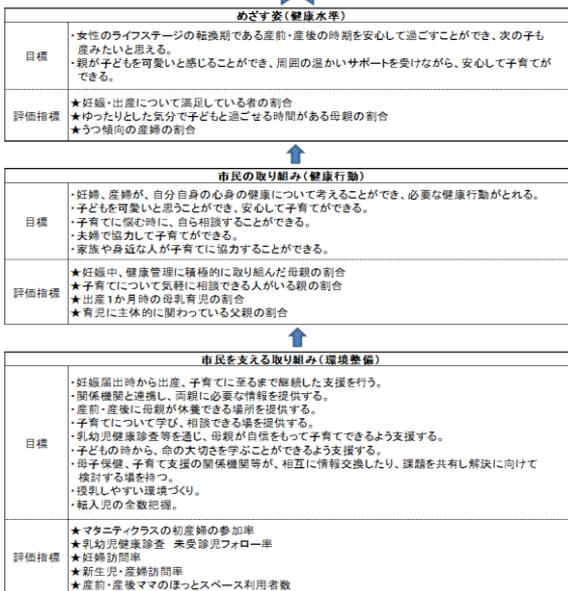


15

基盤課題A 妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援

基盤課題Aの目標	妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援体制を構築し、安心して子育てができるよう支援する
----------	---

抜粋



16

基盤課題 A. 妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援

抜粋

目標および指標

1. めざす姿(健康水準)

目標

- ・女性のライフステージの転換期である産前・産後の時期を安心して過ごすことができ、次の子ども産みたいと思える。
- ・親が子どもを可愛いと感ずることができ、周囲の温かいサポートを受けながら、安心して子育てができる。

(参考とする指標)

・妊産婦死亡率 ・乳幼児死亡率 ・周産期死亡率

評価指標	策定時 (ベースライン)	中間評価 (5年後)	最終評価 (10年後)
妊娠・出産について満足している者の割合	100%	100%の維持	100%の維持
ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合	3・4か月児 86.7% 1歳6か月児 — 3歳児 —	3・4か月児 増加 平成27年度調査後に設定 平成27年度調査後に設定	3・4か月児 増加 平成27年度調査後に設定 平成27年度調査後に設定
うつ傾向の産婦の割合 ※ベースライン時は母子手帳交付時アンケート ※平成27年度中にEPDS（エジンバラ産後うつ病自己評価表）を実施し、目標値再設定 (産後1か月でEPDS9点以上の産婦の割合)	46.5%	平成27年度調査後に設定	平成27年度調査後に設定

17

●ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合

抜粋

	策定時 (ベースライン)	中間評価 (5年後)	最終評価 (10年後)
数値目標	3・4か月児 86.7% (参考) (平成25年度健やか親子21最終評価 甲州市) 1歳6か月児 — 3歳児 —	3・4か月児 増加 平成27年度調査後に設定 平成27年度調査後に設定	3・4か月児 増加 平成27年度調査後に設定 平成27年度調査後に設定
調査方法	<p>【ベースライン調査】 平成25年度厚生労働科学研究（山縣班）親と子の健康度調査（3・4か月児：問25） 設問：お母さんはゆったりとした気分でお子さんと過ごせる時間がありますか。 →（1.はい 2.いいえ 3.何ともいえない） 算出方法：「はい」と回答した者の数/全回答者数×100</p> <p>【ベースライン調査以後】 平成27年度より乳幼児健康診査（3・4か月児、1歳6か月児、3歳児）で問診実施予定 設問：お母さんはゆったりとした気分でお子さんと過ごせる時間がありますか。 →（1.はい 2.いいえ 3.何ともいえない） 算出方法：各健康診査時点において、「はい」と回答した者の数/全回答者数×100 今後、中間評価までに問診調査を行い、目標値の再設定を行う。</p>		
目標設定の考え方	<p>ゆったりとした気分で子どもと接する時間があるという、母親の時間的、精神的なゆとりは、良好な母子関係の形成に重要な要因の一つであると考えられます。甲州市は全国（79.7%）より高い状況ですが、過去の調査結果では、平成17年度が89.5%、平成21年度66.7%と大きく変動しているため、今後は安定し、より高い値で推移していくことを目指します。</p>		

18

母子保健計画を
策定して・・・

甲州市母子保健計画

「すこやか親子こうしゅう」



平成 27 年 3 月

甲州市

ご清聴ありがとうございました

